

「比例を軸に」「中国は一つ」で比例目標525000に正面から挑戦し、何としても大平議席の奪還を。

中国ブロック交流ニュース

発行／日本共産党国会議員団中国ブロック事務所

〒703-8288 岡山市中区赤坂本町 1-31 2020/5/18 NO.39

TEL086-273-7747 FAX086-272-7108 Email [jcp-chu@mx36.tiki.ne.jp](mailto:jcp-chu@mx36.tiki.ne.jp)

## 「宣言」解除 引き続き 命と暮らし、営業を守るために全力を 今週には、文書による政府要請も行います。



中国5県などでは「緊急事態宣言」が解除されました。しかし、「第2波、第3波の可能性」が指摘されており、さらに「暮らしと

営業の被害」はいっそう長期化し深刻になります。各県では地方議員を先頭に、住民に寄り添いながら声を行政に届ける活動を繰り返してきています。(写真左は広島県委員会、右は島根県委員会の県への要請活動)

今週中には、各地方議員から寄せられた声を、国に届ける「文書による政府要請」にも取り組みます。「立党の精神」を発揮して、さらに頑張らしましょう。

## 大平さん 新型コロナ問題 ネットでも大奮闘

新型コロナ禍の県外移動規制のもと、大平喜信前衆議院議員は、ネット、SNSを活用して大奮闘しています。



毎週火・金の「ツイッターLIVE配信」、そして毎月2回の「大平・小松時事対談」(写真左)に挑戦。さらに16日には「国会議員Zoom会議」(写真右)にも参加しました。皆さんのカクサンをよろしくお願ひします。

## 岩国基地での離着陸訓練の中止を・広島県委員会が申し入れ



大平喜信前衆議院議員と広島県委員会は5月14日、中四国防衛局を訪れ、岩国基地でのFCLP(空母艦載機着陸訓練)を許さないとの要請を行いました。(写真)

FCLPは基地の滑走路を空母の甲板に見立て連続的に離着陸を繰り返すもの。しかも夜間に至るまで訓練が行われ、住民の苦痛は凄まじいものです。

大平さんらは、「日本政府は米軍に対してどんな理由があろうとも岩国基地で着陸訓練を行わないよう求めよ」と強く要請しました。